

不動産ファンドフォーラム2006イン仙台

“地方都市における不動産証券化ビジネスセミナー”

平成18年6月23日・仙台市戦災復興記念館

大手税理士法人の辻・本郷税理士法人とアセットブレインズ仙台ネットワークの共催による「不動産ファンドフォーラム2006イン仙台」“地方都市における不動産証券化ビジネスセミナー”が6月23日、仙台市青葉区の戦災復興記念館で行われた。

講演では、講師を務めた森トラストの吉田武専務が、注目される仙台市青葉区一番町の東北学院跡地開発について、400～500億円を投資し、高さ180mに及ぶ東北最高層の複合ビルの建設構想を明らかにするとともに、仙台市の活性化への熱い想いを語った。引き続きオリックスの木本幸憲東北ブロック長と平塚浩一氏が

「開発型不動産証券化の概要と実践手法」と題して、最先端の不動産ファイナンス理論を紹介。さらに、アセットブレインズ仙台ネットワークの佐々木正之事務局長が「仙台・東北圏の不動産証券化事情」としてJリートやプライベートファンドの現状などを詳しく解説した。

建設新聞社などが後援したこのセミナーには、活発化している不動産証券化や都心部などを中心とした“ミニバブル”ともいえる不動産高騰の現状と、今後の動向を見極めたいとする多くの建設産業関係者、不動産業者などが詰めかけ、関心の高さをうかがわせた。



共催：辻・本郷税理士法人
アセットブレインズ仙台ネットワーク
後援：建設新聞社ほか

セミナー講師

森トラストの考える21世紀の新しい街づくり

森トラスト株式会社
専務取締役 吉田 武 氏

開発型不動産証券化の概要と実践手法

オリックス株式会社
東北ブロック長 木本幸憲 氏

不動産ファイナンス本部
ストラクチャードファイナンス部 平塚浩一 氏

仙台・東北圏の最新不動産証券化事情

アセットブレインズ仙台ネットワーク
事務局長 佐々木正之 氏

仙台リートの設立を

『仙台・東北圏の最新不動産証券化事情』
(講演の内容から一部を抜粋)

アセットブレインズ仙台ネットワーク 事務局長 佐々木正之 氏



東北の資産規模も
成長の可能性大